

マタイの福音書 第6章 6節

「あなたがたは、祈るときには自分の奥まった部屋に入りなさい。そして、戸をしめて、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。」

このみことばだけを聞いて、あなたがたと呼び掛けるイエス様の思いを汲み取ることは少々難しいかもしれません。なぜなら、この教えのすぐ後に弟子たちの前でイエス様が祈られているからです。ひとりで、自分の奥まった部屋に入り、さらには戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈るよう教えます。ひとりで祈ることもあり、共に祈ることもあり、会衆と一緒にここを合わせて祈ることもあります。そうしますと、ここでイエス様が強調される祈りの姿勢はどのような意味かを聞き取ることが大切でしょう。

奥まった場、戸を閉めて、隠れたところにおられる父に祈りなさいとは、ひとりであっても、また人の目につく所であっても、ただひたすら天の父なる神に向き、会話をしなさいということでしょう。父に与えられた祈る道を父との交わりの場としなさいということでしょう。そうでない者は、人に見られたくて公の場に立ち、祈ることを好む偽善者と戒めています。ひたすれ父なる神に祈る者は報われます。祈る者の祈りを父なる神が聞いてくださるからです。

2022年8月1日